



Toyo Business Engineering Corporation

ご説明用資料

## 2016年3月期 第2四半期決算概要

2015年11月6日

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社

Copyright (C) 2015 Toyo Business Engineering Corporation. All rights Reserved.

### 会社沿革

#### 東洋ビジネスエンジニアリングの歩み

東洋エンジニアリング株式会社  
産業システム事業本部 IT事業部

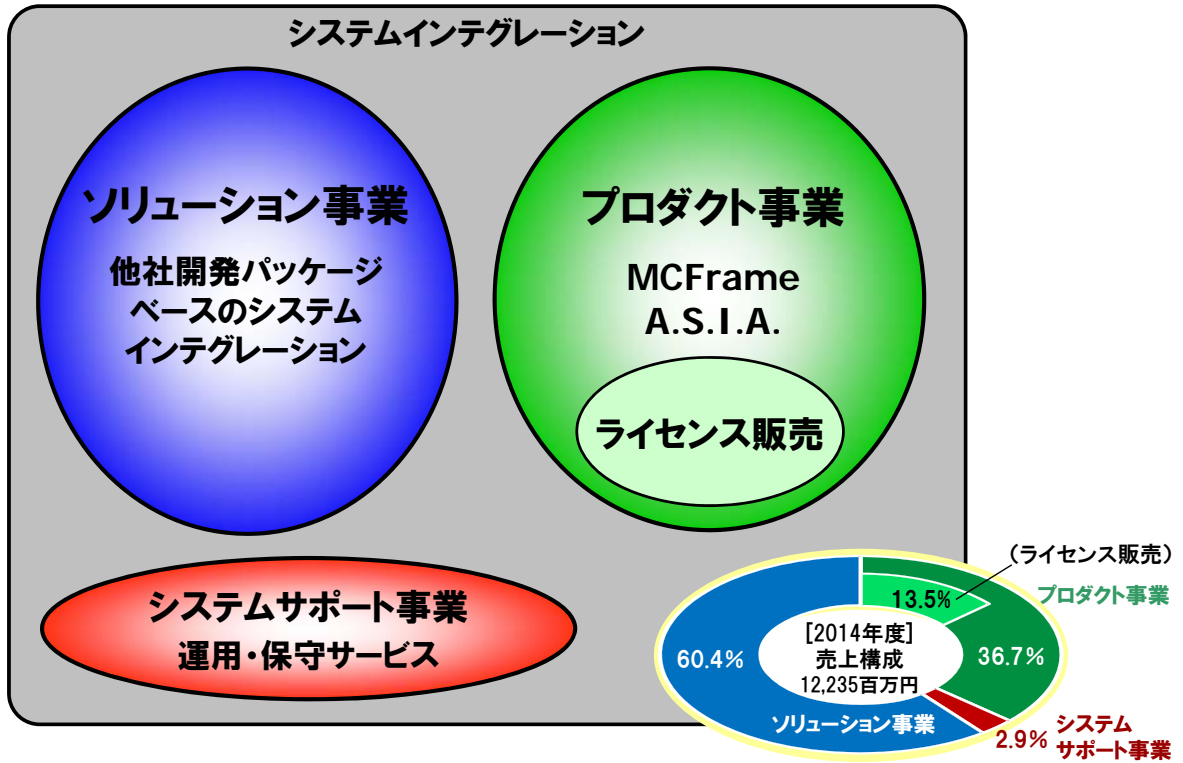
b-en-g 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 1987年 産業システム事業開始     | 1999年 B-EN-G 分社、独立      |
| 1989年 独SAP本社と提携交渉開始  | 2001年 株式上場(JASDAQ)      |
| 1993年 国内第1号SAPプロジェクト | 2003年 東洋ビジネスシステムサービス設立  |
| 1996年 MCFrameリリース    | 2007年 A.S.I.A.事業を統合     |
|                      | 2014年 東証一部上場            |
|                      | 2014年 野村総合研究所、図研と資本業務提携 |

#### 国内外の拠点

**本社** (東京都千代田区)、関西支店 (大阪市)、中部営業所 (名古屋市)  
東洋ビジネスシステムサービス株式会社  
(中国) 畢恩吉商務信息系統工程 (上海) 有限公司  
(タイ) Toyo Business Engineering (Thailand) Co., Ltd.  
(インドネシア) PT. Toyo Business Engineering Indonesia  
(シンガポール) Toyo Business Engineering Singapore Pte. Ltd.

## 事業セグメント



# 2016年3月期 第2四半期決算の概要

## 2015年度上期決算について (期初予想比)

- ◆ 売上・利益共に、ほぼ期初予想の範囲内。
- ◆ 但し、不採算案件の発生により売上総利益減少したものの、一般管理費等の減少により利益が、期初予想の範囲内となる。

### 損益の概要 (対(5月)期初業績予想比)

	16.03 2Q	5/11 業績予想	差異 (増減率)
売上高	5,918	5,800	118 (+2.0%)
売上総利益	1,678	1,770	△ 91 (△5.2%)
売上総利益率	(28.4%)	(30.5%)	(△2.2%) ※
営業利益	164	160	4 (+2.8%)
営業利益率	(2.8%)	(2.8%)	(+0.0%) ※
経常利益	164	160	4
四半期純利益	96	80	16
受注高	6,274	5,900	374 (+6.4%)

注:本説明資料の記載金額は、全て百万円未満を切り捨てて表示しております。

※:利益率の差異

## 2015年度上期決算について (前年同期比)

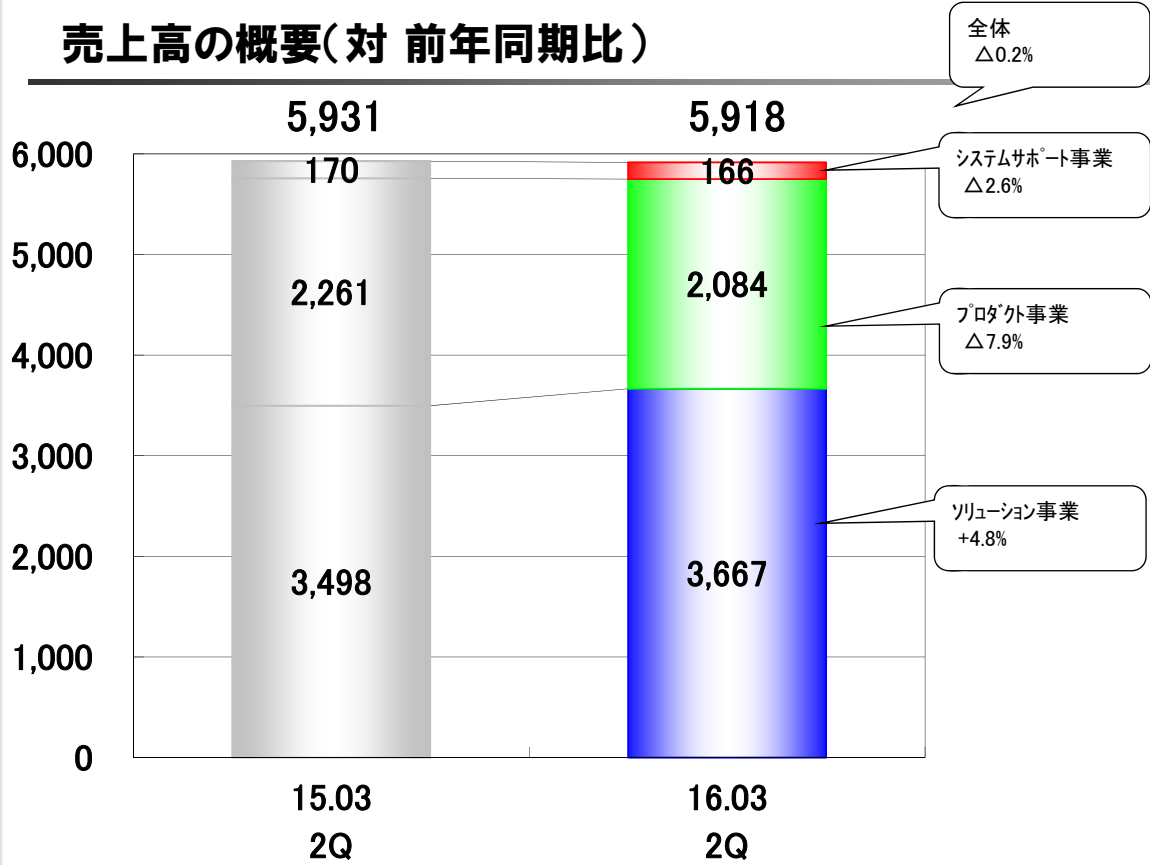
- ◆ 売上高、前年同期比微減。
- ◆ 不採算案件の発生により売上総利益減少も、一般管理費等の減少により利益増。
- ◆ MCFrameライセンス売上高は、前年同期を上回り、上期過去最高を連続更新。

### 損益の概要 (対 前年同期比)

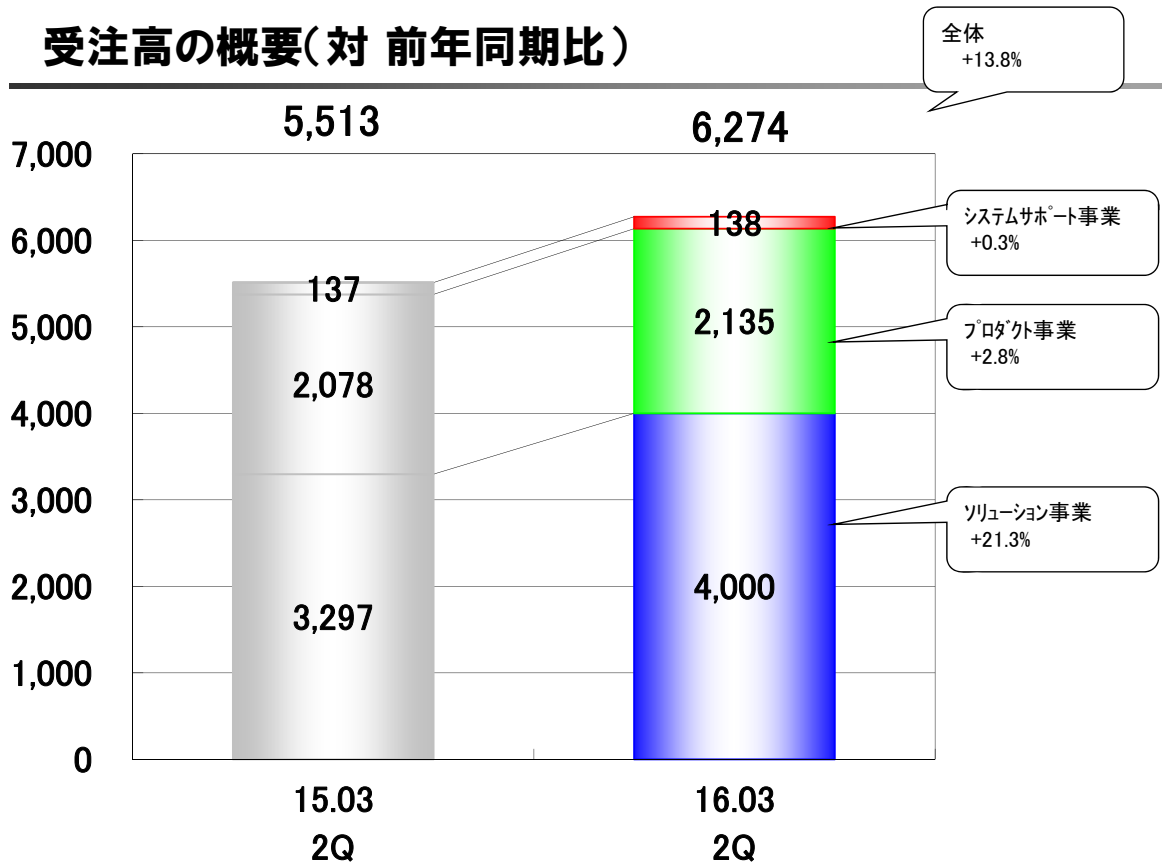
	16.03 2Q	15.03 2Q	差異 (増減率)
売上高	5,918	5,931	△ 13 (△0.2%)
売上総利益	1,678	1,765	△ 86 (△4.9%)
売上総利益率	(28.4%)	(29.8%)	(△1.4%) ※
営業利益	164	148	15 (+10.5%)
営業利益率	(2.8%)	(2.5%)	(+0.3%) ※
経常利益	164	146	18
四半期純利益	96	65	30
受注高	6,274	5,513	761 (+13.8%)

※: 利益率の差異

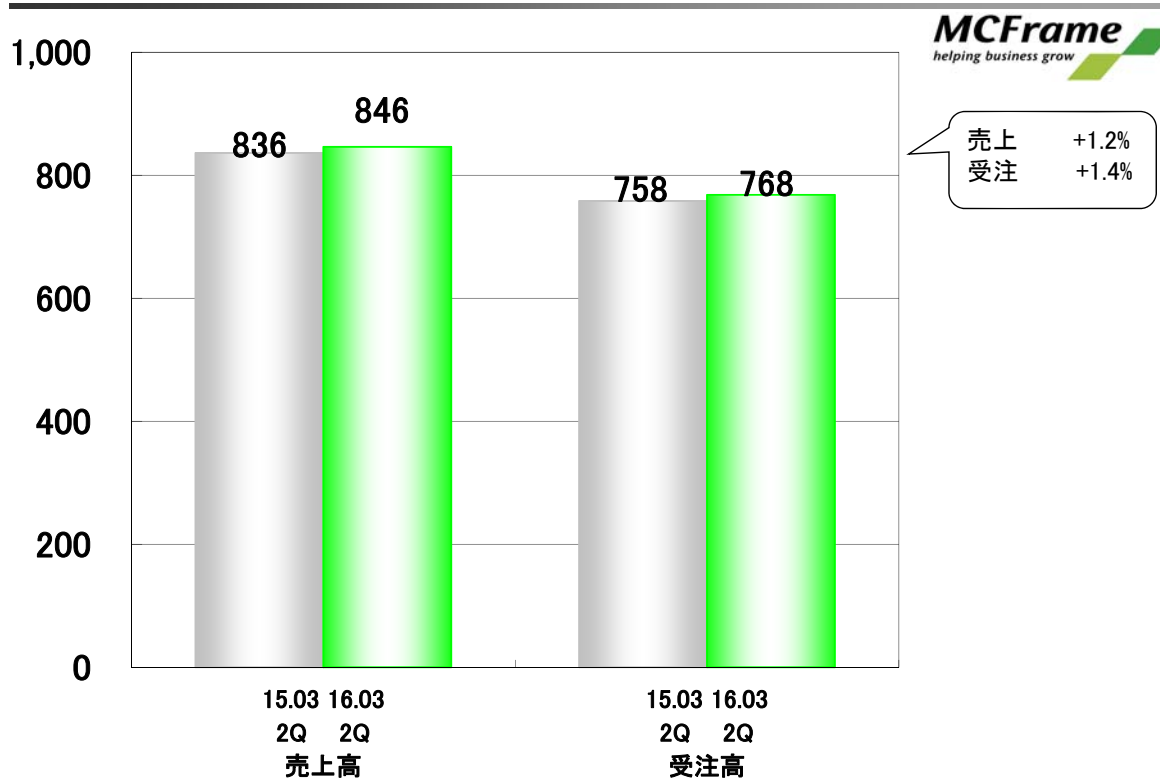
## 売上高の概要(対 前年同期比)



## 受注高の概要(対 前年同期比)



## MCFrameライセンス売上高、受注高の概要(対 前年同期比)



## 貸借対照表の概要(1)資産の部(対 前期末比)

	16.03 2Q	15.03 期末	増減
現金及び預金	424	625	△200
受取手形及び売掛金	2,623	2,410	212
たな卸資産	407	311	95
その他流動資産	599	655	△56
<b>流動資産計</b>	<b>4,054</b>	<b>4,003</b>	<b>51</b>
(比率)	(68.6%)	(68.6%)	
有形固定資産	141	155	△14
無形固定資産	1,162	1,127	34
投資その他の資産	551	552	△0
<b>固定資産計</b>	<b>1,855</b>	<b>1,836</b>	<b>19</b>
(比率)	(31.4%)	(31.4%)	
<b>資産合計</b>	<b>5,910</b>	<b>5,839</b>	<b>70</b>
(比率)	(100.0%)	(100.0%)	

## 貸借対照表の概要(2)負債・純資産の部(対 前期末比)

	16.03 2Q	15.03 期末	増減
未払勘定	922	816	106
短期借入金	500	500	-
その他負債	1,331	1,422	△90
<b>負債合計</b>	<b>2,754</b>	<b>2,738</b>	<b>16</b>
(比率)	(46.6%)	(46.9%)	
資本金	697	697	-
資本剰余金	426	426	-
利益剰余金	2,031	1,977	54
<b>純資産合計</b>	<b>3,155</b>	<b>3,101</b>	<b>54</b>
(比率)	(53.4%)	(53.1%)	
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,910</b>	<b>5,839</b>	<b>70</b>
(比率)	(100.0%)	(100.0%)	

## キャッシュ・フローの概要(対 前年同期比)

	16.03 2Q	15.03 2Q	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	176	331	△155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△334	△315	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41	△59	17
現金及び現金同等物の増減額	△200	△43	△157
現金及び現金同等物の期首残高	625	609	15
現金及び現金同等物の期末残高	424	565	△141

# 2016年3月期 通期業績予想について

## 2016年3月期 通期業績予想について

売上高	123.0億円
営業利益	4.2億円
経常利益	4.2億円
当期純利益	2.2億円

平成27年5月11日の期初公表値から変更ありません。  
但し、売上高の内訳・売上総利益等について変更致しております。

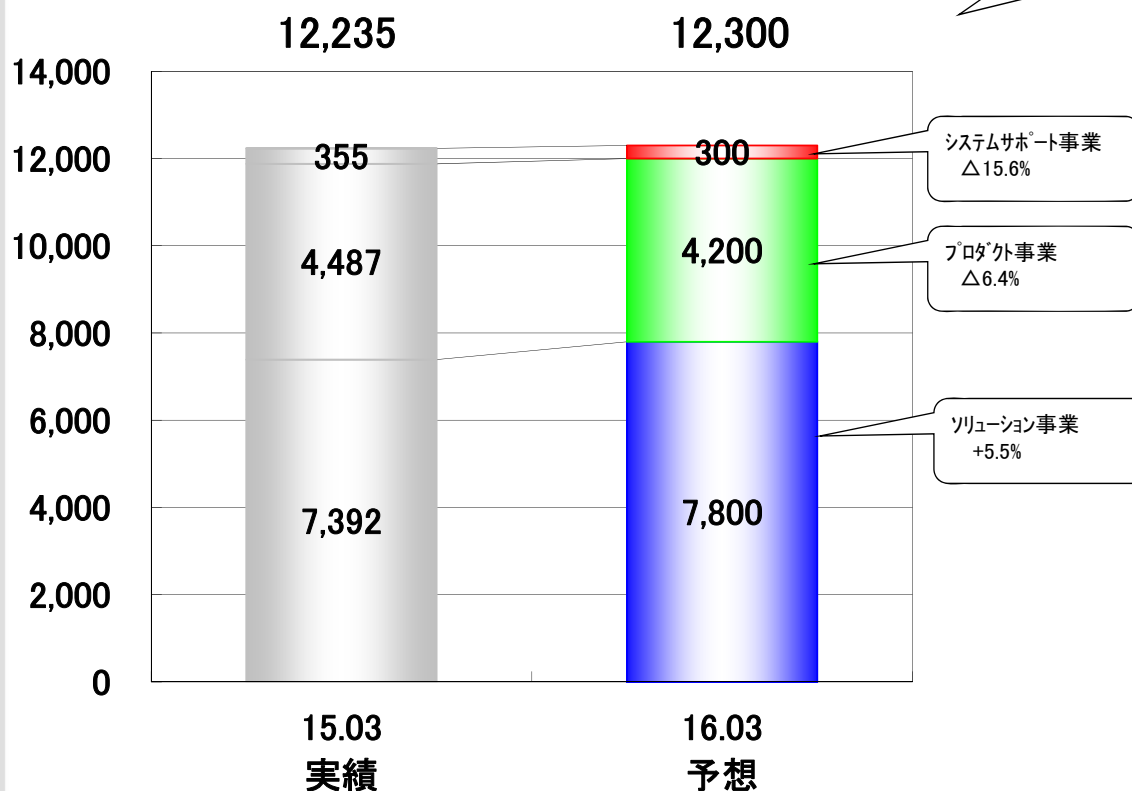


## 通期 損益の予想(対 前年同期比)

	16.03 予想	15.03 実績	差異 (増減率)
売上高	12,300	12,235	64 (+0.5%)
売上総利益	3,590	3,510	79 (+2.3%)
売上総利益率	(29.2%)	(28.7%)	(+0.5%) ※
営業利益	420	376	43 (+11.5%)
営業利益率	(3.4%)	(3.1%)	(+0.3%) ※
経常利益	420	371	48
当期純利益	220	200	19
受注高	12,300	11,874	425 (+3.6%)
配当(単体)	14.0円	14.0円	—
ROE	7.0%	6.6%	(+0.4%)

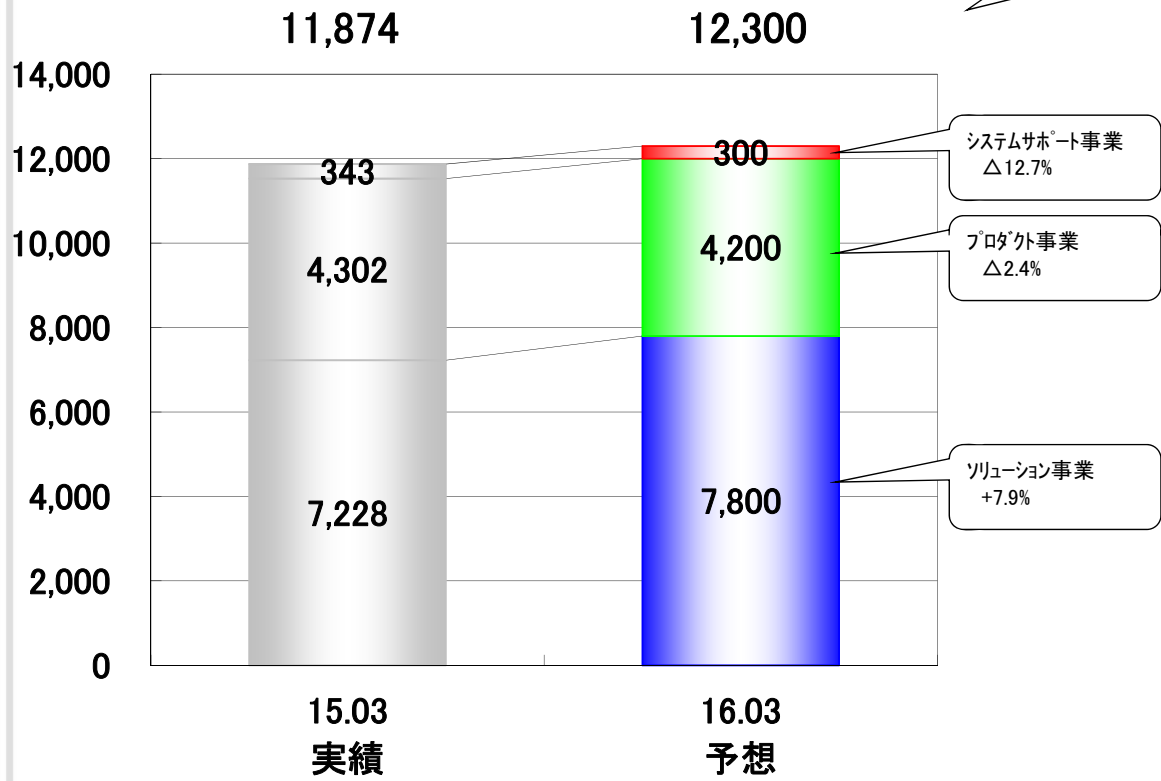
※:利益率の差異

## 通期 売上高の概要(対 前年同期比)

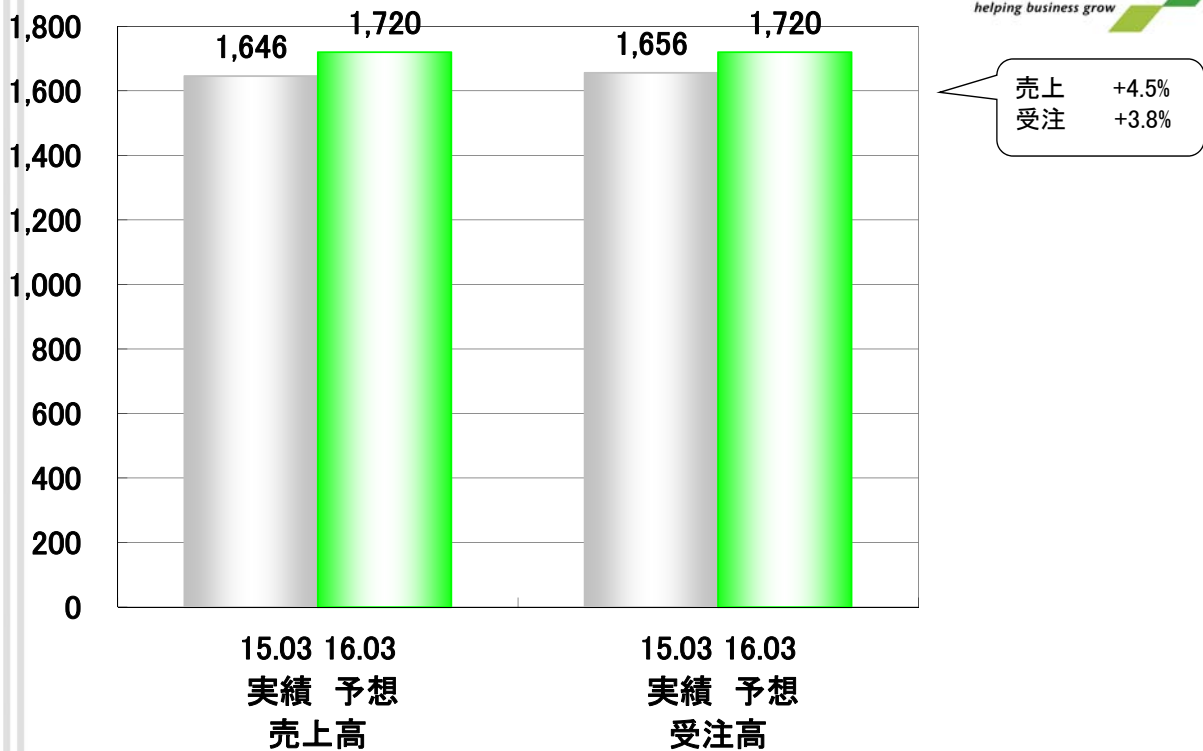


## 通期 受注高の概要(対 前年同期比)

全体  
+3.6%



## 通期 MCFrameライセンス売上高、受注高の概要(対 前年同期比)



ありがとうございました。

b-en-g

Toyo Business Engineering Corporation

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 経営 Vision 2020



Toyo Business Engineering Corporation

2015年11月6日

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社

Toyo Business Engineering Corporation Confidential

Copyright (C) 2015 Toyo Business Engineering Corporation.

## 経営 Vision 2020 / サマリー



### 経営Vision 2020

アジアNo.1のパートナーとして、  
B-EN-Gグループの総合力で提供価値を充実させ、  
お客様の成長に貢献する

『**B-EN-G 3.0**』を目指す

### 中期戦略

経営Vision2020を実現するための中期戦略

- ① **ビジネスモデルの進化**
- ② **ソリューションポートフォリオの進化**
- ③ **グローバル対応の進化**

2020年度

クラウド  
ビジネス

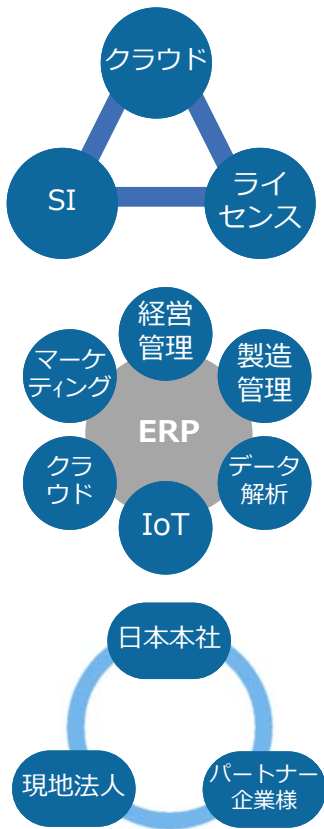
自社開発ライセンス  
ビジネス

インテグレーションビジネス

### 業績目標

**ROE 10%**

B-EN-G 1.0 > B-EN-G 2.0 >> **B-EN-G 3.0**



①ビジネスモデルの進化

市場変化と技術革新に対応し、  
強固な競争力を構築するため

SI×ライセンス×クラウドの  
3つのビジネスモデルへと相乗的進化

②ソリューションポートフォリオの進化

より幅広いお客様ニーズへ対応するため

ERPから拡張した  
ソリューションポートフォリオへと選択的進化

③グローバル対応の進化

お客様の海外展開を支援するため

グローバル化とローカル化  
を両立したビジネス体制へと段階的進化

ソリューションビジネス

お客様のビジネス革新を  
継続的に支援するITパートナーへ

- 複雑化するお客様課題に対するソリューションの提供
- クラウドベースの新ソリューション提供
- インテグレーションビジネスの高収益化

プロダクトビジネス

アジアを代表する  
SCMソリューションベンダーへ

- 特化市場で差別化した製品・サービスの開発・提供
- 製品・サービスのグローバル対応強化
- パートナー企業様と協働した提供価値の向上

システムサポートビジネス

お客様に安心・満足を届ける  
ITサービスプロバイダーへ

- AMS\* / 開発サポートのサービス拡充  
\* AMS(Application Management Service):システム運用保守サービス
- サービス・ポートフォリオの拡充
- クラウド時代のシステムサポートの提供

グローバルビジネス

グローバル対応した  
ITソリューション企業としての  
ポジション確立へ

- 海外市場の着実なビジネス拡大
- 柔軟な拠点間ネットワークの確立
- 現地ニーズベースの新ビジネス領域の開拓

## 業績目標

## 2020年度目標

売上高 **15,000** 百万円

営業利益 **1,000** 百万円

当期利益 **550** 百万円

ROE **10%**

※中長期的に10%程度のROEを達成することが目標。

## 株主還元

配当性向 **30% 以上**

※ 連結配当性向が中長期的に30%を上回るよう努めることが基本的方針。

ありがとうございました

b-en-g

Toyo Business Engineering Corporation

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。